

## 所蔵作品展「MOMATコレクション」

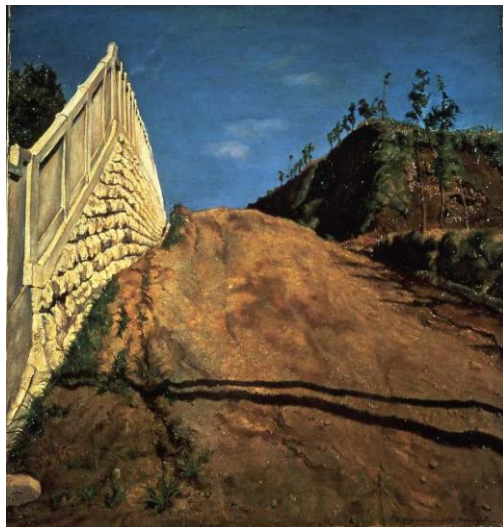
2018年10月6日[土] – 2019年1月20日[日]



デイヴィッド・スミス《サークルIV》1962年

©The Estate of David Smith

Photo courtesy the Estate and Hauser &amp; Wirth



岸田劉生《道路と土手と塀(切通之写生)》1915年 重要文化財

## ■ 今期のみどころ

## ① 明治から昭和まで、1時間でたどる時間旅行

20世紀はじめから今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連も含めてご紹介するMOMATコレクション。第1室は「ハイライト」コーナーで、当館選りすぐりの名品がまとまっています。第2室から第12室にかけては、明治から現代まで時代を追って美術の流れをたどることができます。

今期、各室のテーマも作品も大幅に入れ替わりました。第2室以降はおおよそ時代順ですが、例えば、西洋に留学した若い頃の作品と帰国後に確立した自己様式を並べて紹介する第3室「ビフォー／アフター」や、太平洋戦争中の日本画に注目する第6室「日本画家の彩管報国」など、部屋ごとにテーマをたてて作品が選ばれています。作品の時代背景にも思いを馳せつつ、小さな時間旅行をお楽しみください。

## ② 新収蔵したデイヴィッド・スミス《サークルIV》を紹介しています

新しく収蔵した戦後アメリカを代表する彫刻家デイヴィッド・スミスの大作《サークルIV》を、前回より第12室「ようこそスミスさん」で紹介しています。円や四角といったシンプルな形から成り立っていますが、構成のバランスや筆あとを活かした彩色などのために、見る角度によって人体を思わせたり純粋な抽象性を強調したりと、「性格」を大きく変えるのが見どころです。

## ③ 新収蔵の横山操作品公開

当館では昨年度、横山操の《絶筆》等8点の寄贈を受けました。そこで、今期の第10室手前のコーナーでは、新収蔵作品8点、寄託作品2点を含む全13点の横山作品を、11月26日の展示替をはさんで前期、後期に分けて紹介します。

## ④ 酵素を用いた作品修復の成果を

当館では東京文化財研究所と共同研究で、昨年度、酵素を用いた作品修復を行いました。使った酵素は、カビとカビの分泌物の細胞壁を分解する力があるエンザイムミクスチャーCTB-01。作品は1942(昭和17)年3月に日本画家報国会が主催した軍用機献納作品展の出品作10点です。MOMATコレクション展第6室「日本画家の彩管報国」において、修復した作品の一部を公開します。

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先：東京国立近代美術館 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

## ■ ギャラリー4 コレクションによる小企画 遠くへ行きたい

永六輔が作詞し、中村八大が作曲した歌謡曲「遠くへ行きたい」。

この曲をヒントに、コレクションのなかから、今いる場所から遠く離れたところへの憧れや、どこか非日常的な空間をさまよう姿などを表した作品約25点の作品を紹介します。

## ■ 作品解説をお手持ちのスマホで

所蔵作品展「MOMATコレクション」の作品解説(和英中韓の4ヶ国語)を、お客様ご自身のスマートフォンでダウンロードしてお楽しみいただけるサービスを、もうお試しになりましたか？

当館では昨年から作品解説の多言語化を整備し、導入を進めてきましたが、展示室内のWi-Fi環境も整い、6月から本格導入しています。

まずは「Catalog Pocket」というアプリをダウンロード。展示中の作品のうち、約100点の作品解説を4ヶ国語でご覧いただけます。解説を自動読み上げ音声で聞くこともできます。完全無料です。

なお、この事業はDNP大日本印刷のご協力によるものです。

## ■ キュレータートーク

10月6日(土)14:00～15:00 都築千重子(主任研究員)

10月26日(金)18:30～19:30 蔵屋美香(企画課長)

11月30日(金)18:30～19:30 鶴見香織(主任研究員)

12月1日(土)14:00～15:00 増田玲(主任研究員)

\* テーマ等詳細は当館HP(<http://www.momat.go.jp/am/exhibition/>)にてご確認ください。

## ■ 所蔵品ガイド

毎日1時間ほど、対話を交えたギャラリートークを行っています。

最大の特徴は、作品解説を聞く一方向的なものではなく、参加者主体の鑑賞プログラムであること。当館解説ボランティア「MOMATガイドスタッフ」が参加者のみなさまと一緒に展示室をまわり、みなさまとの対話を進めながら、数点の作品を鑑賞します。ガイドスタッフを案内役に、みなさまは作品を自由に感じ、想像をめぐらせ、それを言葉にして語り合います。作品と向き合い、他の人との対話によって深く作品を掘り下げていく感覚は、まるで謎解きのようにもあり、新たな作品の魅力を発見していただける機会となるでしょう。

日時: 休館日を除く毎日、14:00-15:00

場所: 所蔵品ギャラリー(1Fエントランス集合)。要観覧券。参加は無料。

## ■ 画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品は、どれでも**無料(広報扱い)**で画像を貸し出しています。貸し出しの**条件**は次のとおりです。

1. 展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」)の会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会名(所蔵作品展「MOMATコレクション」)と会期、掲載作品が展示中であることを記してください。
3. 原則として、トリミングや文字載せはお断りします。
4. 著作権の保護期間内にある作品については、著作権者の許可をとってください。ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間内にある作品もご利用になれます。
5. 画像の二次使用は原則できません。
6. 作品によっては、カラー画像が未撮影の場合もあります。事前にお問い合わせください。
7. 会期外の使用は、DNPアートコミュニケーションズ(<https://images.dnpartcom.jp/>)へご申請ください。有料です。



太田暁雨《星をみる女性》1936年  
(展示期間:10月6日～11月25日)



## 展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」
会期	2018年10月6日[土]ー2019年1月20日[日]
開館時間	10:00ー17:00 金曜・土曜は20:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし10月8日、12月24日、1月14日は開館)、10月9日[火]、12月25日[火]、 年末年始(12月28日[金]~2019年1月1日[火・祝])、1月15日[火]
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 本館 4~2階 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般500(400)円 大学生250(200)円 * 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。 * 本展の観覧料で、 <b>入館当日に限り</b> 、工芸館 所蔵作品展「近代工芸の名品ー [特集展示] 近代の棗(仮称)」(12/21ー1/20に限る)もご観覧いただけます。
無料観覧日	毎月第一日曜日(10月7日、11月4日、12月2日、1月6日)、11月3日[土]、1月2日[水] * 所蔵作品展「MOMATコレクション」のみ(企画展「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代」は観覧料が必要です。* 11/3を除く)
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	企画展ギャラリー(1F) ◆「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代」 2018年10月10日[水]ー12月24日[月・休] 観覧料:一般1,200(900)円 大学生800(500)円 * リピーター割引: 本展使用済み入場券をお持ちいただくと、2回目以降は特別料金でご覧いただけます。(一般500円、大学生250円) * 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代」の観覧料で、当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」もご観覧いただけます。